

# 浜松市文化財情報

発行：浜松市文化財課

浜松市中区元城町103-2（本庁6階）

TEL：053-457-2466

FAX：053-457-2563

Mail：bunkazai@city.hamamastu.shizuoka.jp

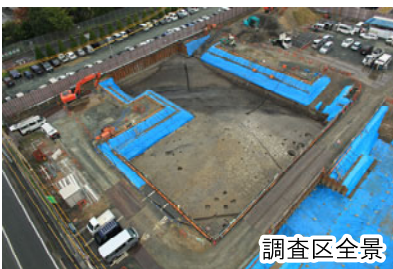
Vol. 33

2010/12/15

川名のひよんどり（国指定無形民俗文化財）

## 梶子遺跡を発掘しました！

今年の6月から11月にかけて、中区南伊場町にある梶子遺跡の発掘調査が行われました。梶子遺跡は、JR東海浜松工場の一帯に広がっている遺跡で、周辺には伊場遺跡や城山遺跡など多数の遺跡があります。今回は社宅の建設に先立つ発掘調査で、約1,600㎡を対象に実施しました。



調査区全景

### ◆伊場大溝は宝の川??

今回の発掘調査では、伊場大溝と呼ばれる遺構が見つかりました。伊場大溝とは、現在の東伊場町付近から森田町付近に向かって流れていた古代の川の跡で、木簡や墨書土器などが多数出土した古代文字資料の宝庫として知られています。また、文字資料以外にも珍しい遺物が出土しており、最近では2008年に森田町の鳥居松遺跡から出土した金銀装円頭大刀が記憶に新しいところです。



伊場大溝

### ◆墨書土器や珍しい遺物が出土！！

見つかった伊場大溝は、幅約25m、深さ2.7mあり、北西から南東に向かって流れていました。大溝の中からは、古代文字資料の発見が相次ぎ、3枚の木簡や数十点にも及ぶ墨書土器が出土しました。特に大溝の東側の岸边には、平安時代（約1,200年前）の土器が大量に捨てられた場所があり、墨書土器の大半はこの付近から出土しました。墨書は灰釉陶器や土師器の碗皿類の底面や側面に施されており、



墨書土器

「足」、「得」、「有」、「平」、「太」などの文字が1文字だけ記されています。これらの文字は吉祥句（めでたい言葉）と考えられ、平安時代の人々が祈りをこめて川辺に捨てたと思われます。また、「廣勢」・「散仕」と書かれた墨書土器も出土しています。同じ文字が書かれた土器は2008年に隣の敷地を調査した時も出土しており、文字の雰囲気から同じ人物が書いたと推定されます。

古代文字資料以外にも、大溝の中からは大量の土器とともに珍しい遺物が数多く出土しました。右の写真は獣足壺と呼ばれる奈良時代（約1,300年前）の土器の一種です。その名が示すとおり、丸い壺の底には獣の足を模した脚部があります。また、鉄鏃や刀子、鑄造鉄斧など金属製品、管玉やガラス小玉、耳環などの装身具が出土しています。



獣足壺



耳環と玉類

今後は出土品や記録の整理作業を進めていきますが、この過程でさらに新たな発見があることが期待できます。

## 文化財指定のお知らせ

### ◆金銀装円頭大刀が市指定文化財に！ 天浜線施設31件が国登録文化財に！

鳥居松遺跡で一昨年出土した「金銀装円頭大刀」が、このたび、浜松市文化財に指定されます。この大刀は、柄頭に純金の双竜文様を施したもので、6世紀前半に朝鮮半島で作られたと見られ、東アジアの美術工芸史上、大変貴重な資料です。12月28日まで浜松市博物館で公開されています。

また、天竜浜名湖鉄道の駅舎や橋梁、トンネル等31施設が、国有形文化財に登録されることになりました。詳細は次号の文化財情報でお知らせいたします。ご期待ください！



# 放鷹文化講演会「家康公と鷹狩り」を開催しました

11月28日(日)、静岡文化芸術大学、鷹書研究会との共催により、放鷹文化講演会「家康公と鷹狩り」を開催しました。徳川家康が鷹狩を愛好したことは有名ですが、その鷹狩—放鷹文化そのものの様子は、一般にはほとんど知られていません。特に、江戸幕府から宮内庁に伝わった伝統的な古式放鷹術は、そうした格式の高さもあって、これまで市民の目に触れる機会は少なかったのが現状です。



匠のみなさまによる人と鷹が一体になった技に、何度となく拍手と歓声が上がりました。また、希望者が実際に放鷹術を体験できるコーナーあり、記念写真や鷹匠から直接お話を聞く時間ありと、充実した内容に観客のみなさまも一様に満足されていたようです。



午後、静岡文化芸術大学で開催された公開講演会も、定員200人の会場があったという間に満員になりました。奥深い鷹狩文化についての貴重な講演に、みなさま真剣に耳を傾けていました。

## 文化財日記抄

11月には、こんな調査活動などを行いました。

- 2日(火) 北区都田町 尾高山遺跡・吉影C古墳群踏査  
東区宮竹町 宮竹野際遺跡入野中学校職場体験(～4日)
- 4日(木) 南区高塚町 高塚遺跡試掘調査
- 8日(月) 天竜区春野町 犬居城・堀ノ内の城山踏査  
浜北区大平 大平城踏査
- 9日(火) 東区宮竹町 宮竹野際遺跡気賀高校職場体験(～10日)
- 11日(木) 南区西伝寺町 西伝東遺跡試掘調査
- 15日(月) 西区馬郡町 柳ノ内遺跡工事立会い  
西区篠原町 国方遺跡工事立会い  
東区子安町 棕木遺跡試掘調査  
天竜区春野町 堀ノ内の城山試掘調査(～17日)
- 17日(水) 南区新津町 旧大通院境内遺跡工事立会い  
東区有玉西町 千人塚古墳・瓢箪塚古墳踏査
- 19日(金) 北区引佐町 遠江のひよんどりとおくない連絡協議会  
東区貴平町 恒武遺跡群工事立会い
- 24日(水) 中区南伊場町 梶子遺跡試掘調査(～25日)  
北区引佐町 正楽寺遺跡工事立会い・踏査

25日(木) 北区引佐町 横尾歌舞伎映像記録作成

28日(日) 中区元城町 放鷹文化講演会

29日(月) 東区貴平町 恒武遺跡群工事立会い

■宝林寺絵画・彫刻現状調査〔北区細江町〕  
4日(木)・10日(水)・11日(木) 計3回

## 文化財イベント

■1月3日(月)

重要無形民俗文化財「遠江のひよんどりとおくない」

寺野のひよんどり

▶午後2時～午後6時頃／三日堂(北区引佐町渋川寺野)

■1月3日(月)

重要無形民俗文化財「遠江のひよんどりとおくない」

懐山のおくない

▶午後1時～午後5時頃／泰蔵院(天竜区懐山)

■1月4日(火)

重要無形民俗文化財「遠江のひよんどりとおくない」

川名のひよんどり

▶午後6時～午後10時頃／八日堂(北区引佐町川名)

## 宮竹野際遺跡を発掘調査中です

2010年7月28日から東区の宮竹野際遺跡を発掘調査しています。今回の調査は、2005年に県が行った調査以来6回目の調査となります。

今回の発掘調査では、奈良時代から平安時代の川の跡や建物跡が確認されました。川の跡からは、大量の須恵器(すえき)や土師器(はじき)等の土器、馬の骨、桃の種等が出土しました。

出土遺物の中には、須恵器で作られた硯や、20点以上の墨書土器が出土しました。このような文字にかかわる出土品の存在から、宮竹野際遺跡には、古代の郡役所があったと考えられます。



当地に該当する郡役所としては、長上郡家(ながかみぐうけ)が想定できます。

長上郡家は、東区和田町一帯に中心部があるとみられますが、宮竹野際遺跡の調査によって、この郡家の施設は、宮竹町まで広がっていたと考えられるようになりました。



なお、調査成果を広くご紹介する宮竹野際遺跡の現地説明会を、12月19日(日)午前10時と午後1時30分より行います。ぜひ、お越しください!!

編集  
後記

放鷹文化講演会「家康公と鷹狩り」には、予想を上回る1,000人以上の方にご来場いただきました。市外から参加された方もたくさんいらしたようですが、中には、WEB上から情報を得て、宮崎県からお越しになったという方もいらしたとか! 放鷹文化や徳川家康、浜松城に寄せる熱い思いを感じました。「鷹狩り」はこれから、密かなブームになるかも!?